

# スペシャル『MOTHER3』講座

勢えん!!

## 糸井&岩田先生

風永インタビューふたび

### 「『3』は今年中に出版します」と現場監督岩田氏、堂々宣言!?

風永のように永田(以下風永) 犬や子供に糸井重里のインタビューが任せられるか!! そんなわけで、朝7時の新幹線に乗って京都までやって来たぜ。おっはよー!!

糸井、岩田 おはよー。

風永 今日は40分しかインタビューできないらしいからガンガンいきますよ。まずは恒例の質問から。本当に今年中に出版するのか!?

糸井 (笑)。まったくいつもいつ

も……。今日は現場監督がいるからな。さ、バシッと答えてやれ!

岩田 今年中に出版したいですね。

風永 またそれかい!

糸井 出ることを希望します!!

風永 大丈夫かなあ。

糸井 岩田がいますよ、岩田が!

なんせ『2』は、岩田が入ったら、とたんにできたからね。

風永 なるほど、それは心強い!

糸井 だろ? そこで読者は思う

## 書き込めるというDDDの特性を十二分に活かした柔軟なシステム

わけだ。「なんだよ、岩田が作ったのか」って(爆笑)。

風永 えー、今回キャラクターの名前なんか公開されましたが。

糸井 俺がつけた。

風永 そりゃそうだろう。

糸井 いいだろ? この村のこいつが……ん? 誰だこいつ!?

風永 (爆笑) おいおい!

糸井 こんな見たことないぞ!!

岩田 いや、見えますよ。これはまえ見せたのを加工してあるから。

糸井 あ、そうか。でもさあ……こういう路線かよ!!

一同 (爆笑)

風永 えー、主人公は、この少年と考えていいんですか?

岩田 主人公、前作の倍のりんですよ。『3』は、基本的には章だてになってますから。オムニバスじゃないですよ。だけど章だてになって、章によって主人公が違う。

糸井 あ、言っちゃった。これで楽になったよ。いままでずっと黙ってたから(笑)。

風永 ってことは8人?

岩田 8人以上いますね。

糸井 知らないほうが楽しいのに。

風永 いや、ホントにそうなんです!! 好きなゲームの取材するのって、ある意味すごくツライ。

糸井 そうだよなあー。

風永 ホントなら、「いつ出るんですか?」とだけ聞いて帰りたい。

岩田 それじゃあ怒られますよね。

風永 そんなわけですから聞かま

す。64DDに対する手応えは?

糸井 ちくしょう、うめーな。

岩田 うーん、やっぱ書き替えてくるってことですね。『3』を作るにあたって、日本中で同じような冒険を同じようにやるっていうのは、もうやめたっていうのがあって。

風永 それは、単純にマルチシナリオにするとかでなく?

糸井 とんでもない!! 大キライです、マルチシナリオって。作り手の権利と義務を放棄してますよ。

岩田 うん、だから、自分がその世界に残したものをなるべくちゃんと残しとくようなゲームにしたいんですよ。たとえば、なんか捨てたり置いたりするじゃないですか。何かに傷つけたりするじゃないですか。そういうことが残る。

糸井 部屋散らかして旅行に行ったら、帰ってきたとき部屋散らかったままなんだよな。

岩田 ええ、そういうことなんです。そうすると書き込めるDDってハードはピッタリなんです。

風永 なるほど。それでは、糸井さんがうわごとのように「スゴイ、スゴイ」とだけ言ってる、戦闘は?

糸井 失礼な(笑)。内容も言いた

講師①

糸井重里



超有名コピーライターにして、『MOTHER』シリーズの生みの親。最近では『釣り師』として『糸井重里のバス釣りNo.1』の制作にも関わっている。

コントローラーを楽器にして音楽を演奏できる。だから、戦闘が楽しくてしょうがない

